

# SANSEIDO 三省堂

ことばは人を育て、未来をきりひらく知の源です。三省堂はことばをみつめて120余年

|    |                         |                         |     |                         |                         |                                   |                          |
|----|-------------------------|-------------------------|-----|-------------------------|-------------------------|-----------------------------------|--------------------------|
| 書名 | 漢字 <input type="text"/> | よみ <input type="text"/> | 著者名 | 漢字 <input type="text"/> | よみ <input type="text"/> | <input type="button" value="検索"/> | <a href="#">さらに詳しく検索</a> |
|----|-------------------------|-------------------------|-----|-------------------------|-------------------------|-----------------------------------|--------------------------|

[トップ・ページ](#)

[新刊・近刊](#)

[辞書](#)

[電子出版](#)

[一般書](#)

[六法・法律書](#)

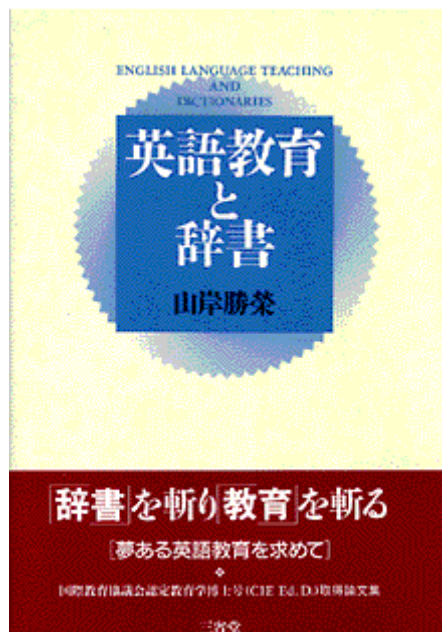
[教科書](#)

[参考書](#)

[教材](#)

[品切一覧](#)

## 英語教育と辞書



山岸勝榮 著

2,625(2,500)円 四六 224 頁 4-385-35763-3 (品切)

日本人のための英語教育、夢ある英語教育をめざした本書では、充実した

辞書論・教育論が展開されている。中学・高校・大学で教えた経験からの発言は、これからの英語教育に多大の貢献をなすだろう。

1997年 4月 20日 発行

---

## ●著者紹介

山岸 勝榮(やまぎし かつえい)

1944年、山口県宇部市生まれ。法政大学大学院博士課程修了(英語学・言語学専攻)、ロンドン大学ユニバーシティ・コレッジ大学院留学(英語学・音声学専攻)。法政大学教授を経て、現在、明海大学教授、慶応義塾大学講師、国際教育研究所副会長。

我が国の英語教育・英語辞書を改善すべく、確固たる信念に基づいた独自の発言と実践を行っており、今回の CIE Ed.D.論文はその集大成である。

著書に『日英言語文化論考』『現代英米語の諸相』(正・続・続々の三作)、『イギリスの言葉と社会』(以上、こびあん書房)ほか多数がある。『ニューアンカー和英辞典』『スーパー・アンカー英和辞典』(ともに学習研究社)の編集主幹、『ケンブリッジ・インターナショナル英英辞典』の日本人顧問でもある。

---

## ●目次

英語教育と辞書・目次

### 英語辞典にももの申す

日本人学習者のための辞典選び…………… 7  
—その Do's & Don'ts

英和辞典について考える…………… 16

—学習者に有益な英和とは

1. 収録語彙の問題 16
2. スピーチレベルの問題 (1) 22
3. スピーチレベルの問題 (2) 38
4. 語義と用例における日本語の問題 50
5. 地域ラベルと難語の問題 65
6. 語法・用例・発音の問題 78

和英辞典について考える…………… 93

—学習者に有益な和英とは

- はじめに 93
1. 見出語と訳語について 95
  2. 例文について 106
- おわりに 112

### 夢ある英語教育

生徒に教えたい単語の語・辞書の話…………… 115

1. 単語の話を聞かせることの意義 115
2. 単語・辞書の話のしかた 117

|                          |     |
|--------------------------|-----|
| 言語のセンスを身につけさせる           | 143 |
| 1. 「言語のセンス」とは何か          | 143 |
| 2. 言語的センスを磨くために          | 153 |
| 夢ある英語教育                  | 158 |
| —英語表現の「ロマンス」を活用する        |     |
| 1. 英語表現の「ロマンス」を探究する      | 158 |
| 2. 授業と英語表現の「ロマンス」の活用     | 160 |
| 戦後 50 年を怒りを込めて振り返る       | 171 |
| 1. 個人的経験を中心に             | 171 |
| 2. 21 世紀に向けて英語教育の在り方を考える | 179 |
| *        *        *      |     |
| 英米語に対する基本認識と知識           | 183 |
| 1. 日本人の英語について            | 183 |
| 2. 「しょせん日本英語たらざるをえない」か   | 185 |
| 3. なぜ英米語を問題にするか          | 194 |
| 4. 英米語と英語教師の姿勢           | 203 |
| 英米語の知識と英文訂正              | 209 |
| あとがき                     | 215 |

## ●『英語教育と辞書』

自著自讃(「ぶっくれっと」1997.7 no.125 より)

山岸勝榮

本書は、私が国際教育協議会(Council of International Education)認定教育学博士号を取得した論文集「英語教育の思想と実践」(Philosophy of Teaching English to Japanese Learners and Its Practice)中より、標記の題名のもとにまとめたものである。英語のタイトルは English Language Teaching and Dictionaries とした。

本書で私は、実践的辞書論・教育論を詳述しており、辞書に関しては、特に「学習者にとって有益な英和とは」、「学習者にとって有益な和英とは」という二点に焦点を絞りながら、主に学習英和辞典、学習和英辞典の質的向上を意図した理論・実践論を展開した。

また、英語教育論に関しては、私自身が受けた英語教育の問題点を浮き彫りにしながら、より望ましい英語教育、夢ある英語教育を目指す私の具体的教育論・実践論を展開した。そこには、生徒に教えたい単語の話・辞書の話、言語のセンスを身につけさせる方法、夢ある英語教育の実現方法、目標言語変種としての英米語の捉らえ方なども収録されている。

審査(計四名)に当たって下さった小川邦彦・山梨大学教授からは、「理論と実践の融合が精緻に展開された本書は、国際理解教育としての英語教育の深化に、多大の貢献をするものである」と、また、本名信行・青山学院大学教授からは、「日本人のための英語教育を目指した本書は、充実した辞書論・実践的教育論を中心に、有意義で興味深い発見を記録している」と、それぞれご高評いただいた。「我が国の英語教師に自信と示唆を与えてくれる指導書である」、「本書には、英語研究者、英語教師としての著者のなみなみならぬ情熱、意気込み、使命感が満ちあふれている」このような評を寄せて下さった一般読者(共に大学教授)もある。

ちなみに、「日本人に英語を教えるプロ中のプロ」を認定する制度(英語科教員上級職認定プログラム)下での教育学博士号(CIE Ed. D.)取得は、第一号の東京学芸大学名誉教授・羽鳥博愛氏について、私が第二号である。

[▲このページのトップ](#)



---

[Copyright \(C\) 2005 by SANSEIDO Co., Ltd. Tokyo Japan](#)